

浜の応援団プロフィール		連携 協力 分野	<input type="checkbox"/> 養殖業	<input type="checkbox"/> 外食
			<input type="checkbox"/> 養殖業以外	<input checked="" type="checkbox"/> 観光・交流・地域活性
			<input type="checkbox"/> 加工	<input checked="" type="checkbox"/> その他
			<input type="checkbox"/> 流通	
			<input type="checkbox"/> 小売り	
応援団になっていただける方のお名前又は団体名		ふりがな	うーまんずふおーらむさかな	
			ウーマンズフォーラム魚	
略歴又は活動内容		1993年5月ウーマンズフォーラム魚の代表を務める白石ユリ子氏が提唱し、日本の大切な「海・魚・環境」を大きなテーマとした市民レベルの会として、約200人の賛同者を得て発足。現在の会員数は約1,000人(活動に賛助する準会員は約2,000人)となり、日本国内のみならず米国、フィンランド、ペルー、メキシコ、ウルグアイ、オマーン、ナミビア、マダガスカルにも支部が設立されるなど、その活動の輪は大きく広がっている。		
ご住所	<input checked="" type="checkbox"/> (公開)	〒104-0061		
	<input type="checkbox"/> (非公開)	東京都中央区銀座3-12-15 銀座細谷ビル4F		
関連ホームページ等		http://www.WFF.gr.jp		
生年月日又は 設立年月日等	<input checked="" type="checkbox"/> (公開)	1993/5/12		
	<input type="checkbox"/> (非公開)			
水産業との連携・協力の実績について		<ol style="list-style-type: none"> 「WWFシンポジウム」や「浜のかあさんと語ろう会」等21年間にわたり多数のシンポジウム、講演会、体験教室を開催。 小学生を対象としたプログラム「海彦クラブ」の実施などを通じて、次代を担う子供たちの海洋理解を増進。 海洋資源や捕鯨、国境離島、北方領土に関する問題など、昨今の海洋をめぐる事情について、市民レベルで学ぶ活動を実施。 国際会議などへの参加等を通じて、積極的に「日本は海の国」との情報発信に努める。 その他出版活動を通じた普及活動を行う。 		
浜の応援団として連携・協力したい内容について		「WWFシンポジウム」や「浜のかあさんと語ろう会」等の多数のシンポジウム、講演会、体験教室を開催するなどし、貴重な海洋資源である水産資源や漁業の重要性と漁村の持つ多面的機能、我が国の食文化について理解を深め広く訴えた活動を行っており、小学生から大人まで幅広く市民レベルで学ぶ活動を実施している。講演会や体験教室として、浜の方々とともに活動することにより、漁村・漁家の現場と都市部住民を直接結びつける取組により、連携・協力をしたい。		
連携・協力の活動エリア		活動 エリア	全国	具体的な 活動エリア
その他		2008年「平成20年度水産功績表彰」受賞(白石ユリ子) 2012年「第61回読売教育賞 最優秀賞」(白石ユリ子代表)		
ご連絡先		gyo[アットマーク]wff.gr.jp		
		TEL:	03-3546-1164	FAX:
ご連絡方法		<input checked="" type="checkbox"/> E-Mail <input checked="" type="checkbox"/> TEL <input type="checkbox"/> FAX		
団体等の場合は、以下についてもご記入下さい。				
ご担当部署名				
ご担当者名		ふりがな		

※メールの送信は、[アットマーク]を@に置き換えて行ってください。